

議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年10月20日 午後6時30分 ～ 午後8時00分	
開催場所	喜連川公民館	
出席議員	司会者	大河原 千晶
	報告者	加藤 誠一
	記録者	大河原 千晶
参加人数	合計 50名 総務常任委員会参加者 10名 文教厚生常任委員会参加者 11名 建設経済常任委員会参加者 18名 傍聴人 11名	
実施内容	1、議会からの報告 2、意見交換 総務常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・さくら市に欲しい施設について ・選挙の投票率について 文教厚生常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて ・栃木SCとの連携について 建設経済常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・お丸山公園整備について ・氏家駅東再整備について 	
主な意見、提言等	総務常任委員会（分科会）報告書 テーマ 「さくら市に欲しい施設は」 ○子育てに関する施設 <ul style="list-style-type: none"> ・天候や気候に左右されない子どもたちの居場所・大型屋内施設（体を思いきり動かせる、子どもが子どもらしくいられる場所） ・広い世代で利用でき、世代間交流（双方に繋がれる）が叶う拠点を市内各所に ○暮らしを楽しみ、豊かにする施設 （駅利用の観点から、駅を効率的に利用できる施設） <ul style="list-style-type: none"> ・駅前でゆっくりくつろげるカフェ ・ビアガーデン、お酒が飲める場所 ・中高生向けの居場所（勉強も遊びも。放課後友達同士集まって過ごせる）（文化・スポーツ施設） ・故郷を身近に、郷土愛を育む郷土歴史資料館（歴史の町に恥じない） ・エアコン完備のスポーツ施設 ・野球スタジアム ・トレーニングジム ・コンサートも可能なホール（文化会館） ・くつろぎながら飲食も可能なカフェのようなおしゃれな図書館 	

(その他)

・小さい子どもやお年寄りも家族で飲食もできる広い休憩スペースがある温泉施設

- ・映画館
- ・スーパーマーケット（喜連川地区）
- ・レジャー施設

氏家体育館、喜連川体育館にエアコン設備

○生活必需

- ・夜間こそ移動が必要であるためタクシー代行など公共交通整備を
- ・子どもが気軽に利用できる路線バス整備
- ・崖崩れの危険地帯をなんとかしてほしい

『所感』

子どもから高齢者まで多世代にわたり広く参加者がおり、どの世代も実現させたい「暮らしの豊かさ」があったことが印象的であった。

それぞれの自由が確保され、さくら市ならではの暮らしを楽しめる場所や、また楽しめる仕組み（多世代交流ができる施策など）が整備されることが必要であると感じた。

例えば駅などは、単なる交通の要所ではなく、そこを起点に家族が待ち合わせたりできるよう、駅前で中高生が勉強や交流ができたり、送迎の保護者がお茶を飲みながら到着を待ったり、通勤の際に子どもを預けたりできる保育所があるなど、多くの人が集う場所だからこそ、思い思い過ごせる場所であってほしいという願いが込められていた。

『まとめ』

さくら市にある施設の中で、現在すでに使用されている目的のある施設に関してはさらに広義的な利活用を、休止している施設については要望の目的で利活用を共に促進させることが必要。

- ・全ての世代の「居場所づくり」を加速化させる取り組みを整備すること。
- ・また、全ての世代の市民の「やりたい！」が叶う複合施設を整備すること。

テーマ

「さくら市の投票率を上げるためには」

○啓発

- ・期日前投票をもっと勧める
- ・候補者による公開討論会を実施する

○システム上の改善

- ・郵便投票をもっと利用しやすくする（手続きを簡素に。ネットなどでも手続きが可能に）
- ・期日前投票の移動投票所を高校、専門学校、スーパーなどに開設

『所感』

参加者の中にはまだ投票権のない中高生もいたが、彼らを中心に選挙を「仕組み」ではなく、選挙をすることで自分たちの暮らしがどのように変わるのか、暮らしにどのような影響があるかを知りたい。といった意見が散見された。そのために、主権者教育に力を入れることの必要性を痛感した。そういった意味でも議員が議会を通して自ら学校に赴き、レクチャーをすることなどが意見交

換の場で挙がった。また、このような「意見交換会」をもっと増やし、市民との意見交換ができる場を提供してほしい。そうすることで議会との距離が近くなり、選挙に対する関心も高まるという意見でまとまった。また、投票所に関して市のバスなどを活用した、各所を回る移動投票所のアイデアも意見交換の場では出された。

『まとめ』

投票率を上げるために、投票しやすい環境を整えることが必要である。そのためにシステム上の改善はもちろんだが、選挙が市民（県民・国民）においてどのような影響を及ぼすものであるのか、自分たちの生活への影響などへの理解が深められることが求められる。

- ・単なる仕組みを学ぶではなく、選挙が身近に感じられる主権者教育に力を入れること。
- ・市有バスなどを活用した移動投票所や、スーパーマーケットなど広く市民が利用する場所への出張投票所などを設けること。

令和7年11月18日

さくら市議会議長 様

さくら市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により別紙を添付して報告いたします。

令和7年議会報告会

班長 加藤 誠一 ㊞

議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年10月20日 午後6時30分 ～ 午後8時00分	
開催場所	喜連川公民館	
出席議員	司会者	大河原 千晶
	報告者	加藤 誠一
	記録者	岡村 浩雅
参加人数	合計 50名 総務常任委員会参加者 10名 文教厚生常任委員会参加者 11名 建設経済常任委員会参加者 18名 傍聴人 11名	
実施内容	1、議会からの報告 2、意見交換 総務常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・さくら市に欲しい施設について ・選挙の投票率について 文教厚生常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて ・栃木SCとの連携について 建設経済常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・お丸山公園整備について ・氏家駅東再整備について 	
主な意見、提言等	文教厚生常任委員会（分科会）報告書 テーマ 「子育てについて」 ○保育・幼児教育 <ul style="list-style-type: none"> ・0～3歳児の預かり先が少なく受け入れ体制の充実を望む（通常保育、一時保育） ・こども誰でも通園制度の拡充 ・兄弟で同じ園に通えるようにしてほしい ・学童保育を保育園と同じ時間帯まで利用できるようにしてほしい ・トコトコ大田原やキッズピア足利のような、子どもが遊べる屋内施設の設置や誘致。また、遊具のある公園など子どもたちが遊べる場所を増やしてほしい ・養護園のお弁当配食が今年度から隔週（2週に1度）になったが、週1回に戻してほしい（子ども家庭センター 支援対象児童等見守り強化事業） ○学校教育・学習環境 <ul style="list-style-type: none"> ・制服や体操着をSDGsの観点から、使い回しできるデザインに変更してほしい ・試験前には図書館の自習室はいつも一杯で使用できない。自習室の拡充、自習室として使える場所を増やしてほしい ・通学路の安全確保（特に喜連川地区、商店街）歩道が狭く危険 ・子ども達の見守り、情報共有のため、アプリで持ち物・宿題・登下校確認な 	

どができるシステムを導入して欲しい

○情報発信・その他

- ・子育てに関する情報（支援・イベント・医療など）がHP、アプリ、ガイドブックなどに分散しているので一元化した情報提供体制を整備してほしい
- ・成人独身者が交流できる機会や場所をつくってほしい

『所感』

子育て中の市民から当事者目線で意見や要望を頂いた。当事者目線で考えると制度の不備や不都合性が浮き彫りになった。

『まとめ』

子育て支援は当事者目線での支援を再検証することが必要であり、また子育て分野におけるDXの推進(スマホアプリ)や子育て情報の一元化(支援、医療、イベント等)が求められる。

テーマ

「栃木SCとの連携について」

・栃木SC天然芝グラウンド、SAKURAグリーンフィールド、露天風呂、B&G海洋センタープール、保健センターなどの利用の連携、及び栃木SCのグラウンドとSAKURAグリーンフィールドの間に階段など設置して歩いて行き来しやすい環境整備

・栃木SCアカデミーと市内3種（中学生）4種（小学生）チームとの交流の実施

・Jリーガーとふれ合えるようなサッカー（スポーツ）イベントの開催（合わせて天然芝グラウンドの開放）

・スポーツ・教育・商工・農業との連携強化（地域の回遊性UP）

・駐車場の整備

・SCのサポーターカンファレンスの実施、さくら市をマザータウンからホームタウンへ変更

・市民へのPR（市内に横断幕の設置、市民が練習を見る機会の創出、飲食店の紹介、広報さくらでの選手紹介）

『所感』

栃木SCの練習場が設置されることによる期待感が感じられる内容であった。

『まとめ』

・栃木SC練習場設置に伴い選手と市民（特に小中学生）との交流の場の設定。

・喜連川練習場周辺の整備。グリーンフィールド、露天風呂、B&G海洋センタープール、保健センターを回遊できる環境整備。

・スポーツ、教育、農商工との連携で地元への経済効果を上げる仕組み作り。

・市民へのPRの実施（横断幕、のぼり旗の設置、広報さくらでの選手紹介等）などの取り組みが求められる。

令和7年11月18日

さくら市議会議長 様

さくら市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により別紙を添付して報告いたします。

令和7年議会報告会

班長 加藤 誠一 ㊞

議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年10月20日 午後6時30分 ～ 午後8時00分	
開催場所	喜連川公民館	
出席議員	司会者	大河原 千晶
	報告者	加藤 誠一
	記録者	福田 克之
参加人数	合計 50名 総務常任委員会参加者 10名 文教厚生常任委員会参加者 11名 建設経済常任委員会参加者 18名 傍聴人 11名	
実施内容	1、議会からの報告 2、意見交換 総務常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・さくら市に欲しい施設について ・選挙の投票率について 文教厚生常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて ・栃木SCとの連携について 建設経済常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・お丸山公園整備について ・氏家駅東再整備について 	
主な意見、提言等	建設経済常任委員会（分科会）報告書 テーマ 「お丸山公園整備について」 ○再生にかかわる提案・要望 <ul style="list-style-type: none"> ・昔のにぎわい。再開発 ・お丸山温泉の復活 ・お昼を取れるような場所の整備 ・サウナ、キャンプ場の整備 ・看板、駐車場設置 ・大文字焼きのようなしかけ（花を植えるなど） 四季を通して楽しめる公園（例）つつじ、桜、あじさい、紅葉 <ul style="list-style-type: none"> ・亀の井ホテル、お丸山ホテルとの連携 ・危険ではない屋外遊具（インクルーシブ遊具）の設置 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・裏通りが狭く通学路になっており側溝の蓋がほしい 	

『所感』

・お丸山については、一般質問や、市としてはこれまで長い年月をかけて、検討会や会議を重ねてきた。議会としては、今回の意見提言をふまえ、公園内の屋外遊具の設置や、スカイタワーの存続・継続含め今後の計画・進捗状況を市民の皆さんにお知らせするとともに、いただいた意見も反映していきたい。

『まとめ』

・スカイタワーを含め、お丸山公園整備の全体構想を早急に決定すべきである。

テーマ

「氏家駅東再整備について」

○再整備にかかわる提案・要望

- ・早く計画を進めてほしい
- ・集団移転の場所の確保
- ・駅東の歩道の確保
- ・電柱の地中化
- ・道路の拡張や一方通行化
- ・「トコトコ大田原」や「monaca モナカ」「しおらんど」のような屋内遊具のある施設の要望
- ・エリア一体を図書館や体育館や遊び場、コンビニ一体の複合施設の要望
- ・空き店舗の活用
- ・スーパー銭湯やコンビニの誘致

その他

・蒲須坂駅前を整備した方が早いのでは

『所感』

・氏家駅東整備については、現在、地元説明会を開始し整備構想をまとめているところであるが、今回いただいた複合施設の整備などの要望・課題などについて市民に寄り添って慎重に議論を重ねることが必要であると感じた。

『まとめ』

宇都宮清住町開発や宇都宮駅東口 LRT 整備を参考としながら費用対効果を含め、速やかな対応が求められる。

令和7年11月18日

さくら市議会議長 様

さくら市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により別紙を添付して報告いたします。

令和7年議会報告会

班長 加藤 誠一 ㊞

議会報告会 2025 出席議員

○日 程 令和7年10月20日(月)

○会 場 喜連川公民館

議席番号	氏 名	役職
1	加藤 誠一	総括・締め挨拶
2	落合 千枝子	欠席
3	高瀬 一徳	記念品配付
4	吉田 雄次	受付
5	大河原 千晶	総合司会・常任委員会発表
6	岡村 浩雅	総括・挨拶・常任委員会発表
8	福田 克之	受付
9	加藤 朋子	記念品配付
10	永井 孝叔	記念品配付
11	若見 孝信	常任委員会司会
12	石岡 祐二	常任委員会司会
13	渋井 康男	常任委員会発表
14	鈴木 恒充	記念品配付
15	角田 憲治	常任委員会司会
16	手塚 定	記念品配付
17	小堀 勇人	議会からの報告(予算説明)
18	矢澤 功	受付